

令和8年度 9月
売払番号 第 507 号
県有林産物公売 物件明細書
物件の種類：立木

- | | |
|--------|-----------------|
| 1 入札日 | 令和8年9月30日(水) |
| 2 開始時間 | 10:00 |
| 3 入札会場 | 盛岡地区合同庁舎 8階 講堂A |

開始時間の10分前までに受付を終了願います。

目 次

1	日程等	1
2	入札会場位置図	1
3	公売物件の所在地及び数量等	2
4	現地案内の日程等	2
5	現地案内集合場所位置図	3
6	数量集計表	4
7	明細表	5～8
8	物件所在位置図	9～10
9	入札心得	11～12
10	入札書様式	13～15
11	委任状(参考様式)	16
12	伐採搬出等に係る留意事項	17～18
13	アカマツ伐採施業指針	19～22
14	公売物件の概要	23

県庁及び担当振興局等の住所及び電話番号

所 属	住 所	電話番号
盛岡広域振興局林務部	〒020-0023	TEL 019-629-6618
森林保全課 県有林担当	盛岡市内丸11-1	FAX 019-629-6624
岩手県農林水産部	〒020-8570	TEL 019-629-5797
森林保全課 県有林担当	盛岡市内丸10-1	FAX 019-629-5789

日 程 等

- 1 入 札 日 令和8年9月30日(水)
- 2 開始時間 10:00
- 3 入札会場 盛岡市内丸11番1
盛岡地区合同庁舎 8階 講堂A
TEL 019-629-6618

入札開始時間の10分前までに受付を終了願います。

入札会場位置図



公売物件の所在地及び数量等

売払 番号	所在地	県有林 の種類	事業 区名	保安林種	立木調査 の方法 ※2	区域面積 (ha)	主要樹種	立木材積 (m3)	FIT制度 優遇措置	搬出期間 ※1
507	盛岡市繋字 猿田 地内	旧県行 造林	繋	土砂流出 防備	航空 レーザ	19.41	スギ アカマツ	9,295	対象 (保安林)	3年

※1) 搬出期間・・・物件を引渡ししてから伐採、搬出を終了するまでの期間。

※2) 航空レーザ調査の場合、樹種、本数及び樹高は、航空レーザによる計測成果から算出したもの、胸高直径は標準値(地上)調査の結果から推定したもの、立木材積はこれらデータをもとに立木材積表により算出した値であり、実際の数量とは差異がある場合がありますことをあらかじめご了承ください。

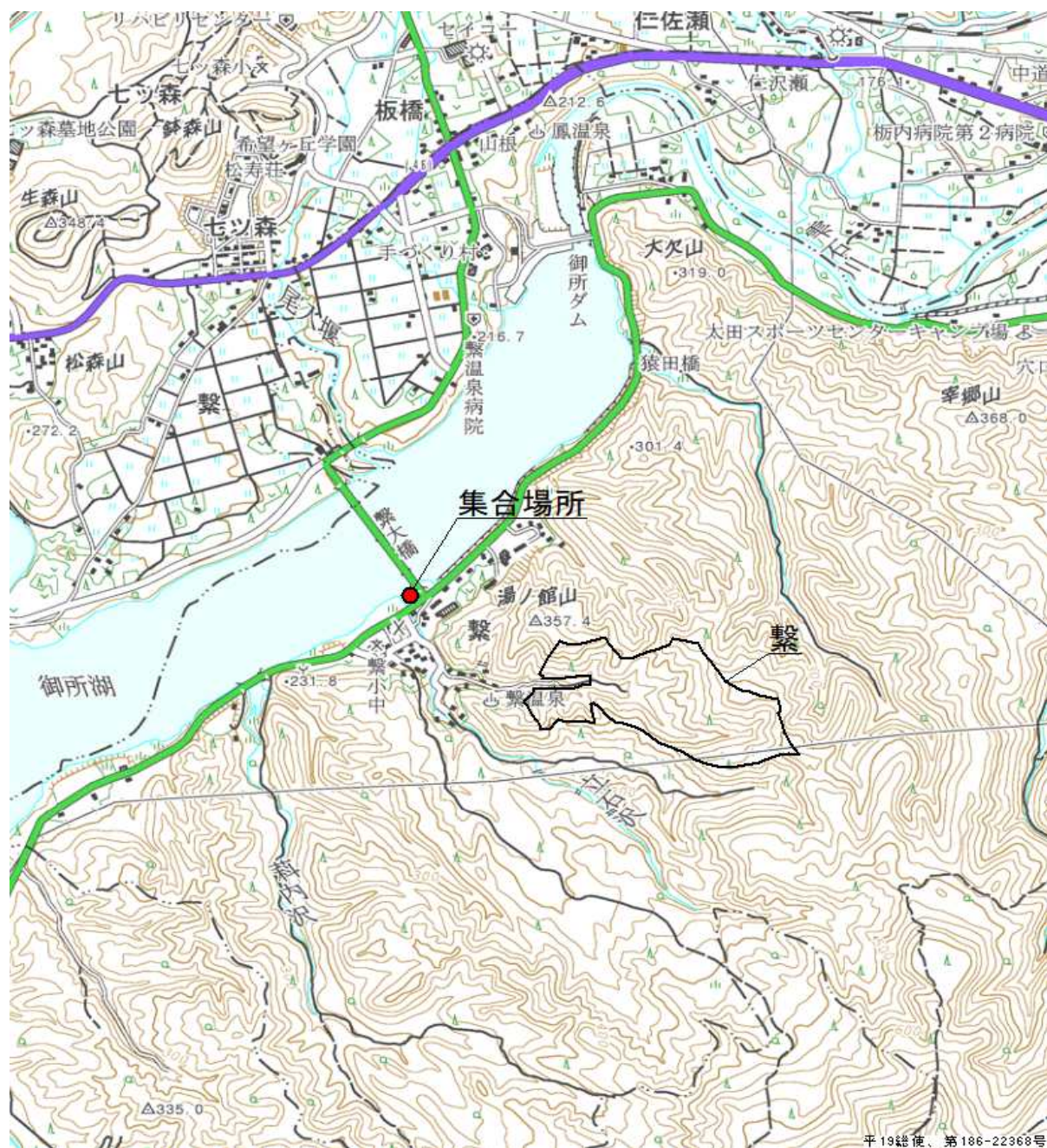
現地案内の日程等

売払 番号	日 時	集合場所(別紙位置図を参照)	備 考
507	令和8年9月11日(金) 10:00～	盛岡市繋清水端19-1 手つなぎ広場(繋大橋南園地)駐車場	現地までは車で移動

現地案内は、振興局等の担当者が行います。

現地案内集合場所位置図

盛岡市繋清水端19-1
手つなぎ広場(繋大橋南園地)駐車場



数量集計表

売払 番号	事業区	樹種	面積 (ha)	径級 (cm)	立木本数 (本)	立木材積 (m3)
507	繫	スギ	19.41	12 ～ 68	3,028	4,024.287
		アカマツ		18 ～ 50	4,464	3,342.140
		カラマツ		16 ～ 54	2,056	1,929.394
		計	19.41		9,548	9,295.821

※内訳

【伐区①】

樹種	面積 (ha)	径級 (cm)	立木本数 (本)	立木材積 (m3)
スギ	7.91	12 ～ 64	97	112.340
アカマツ		18 ～ 50	2,674	2,070.197
カラマツ		16 ～ 54	746	616.942
計	7.91		3,517	2,799.479

【伐区②】

樹種	面積 (ha)	径級 (cm)	立木本数 (本)	立木材積 (m3)
スギ	3.53	12 ～ 68	1,085	1,593.353
アカマツ		24 ～ 42	609	490.642
カラマツ		18 ～ 46	389	394.730
計	3.53		2,083	2,478.725

【伐区③】

樹種	面積 (ha)	径級 (cm)	立木本数 (本)	立木材積 (m3)
スギ	7.97	14 ～ 68	1,846	2,318.594
アカマツ		18 ～ 46	1,181	781.301
カラマツ		16 ～ 54	921	917.722
計	7.97		3,948	4,017.617

明細表

樹 種	スギ		アカマツ		カラマツ				合 計	
林 齢	73～74年生		71～74年生		71～74年生		年生			
胸高直径	本数	立木材積	本数	立木材積	本数	立木材積	本数	立木材積	本数	立木材積
10										
12	7	0.453							7	0.453
14	6	0.751							6	0.751
16	20	3.400			8	0.940			28	4.340
18	59	13.851	20	2.712	14	2.492			93	19.055
20	115	34.975	50	9.780	30	7.530			195	52.285
22	121	45.779	152	40.698	84	29.064			357	115.541
24	150	69.090	314	106.840	158	68.631			622	244.561
26	158	88.268	484	205.852	214	120.728			856	414.848
28	145	94.347	623	335.280	284	193.604			1,052	623.231
30	171	133.032	701	457.259	316	261.985			1,188	852.276
32	209	190.072	702	563.623	299	295.008			1,210	1,048.703
34	224	232.943	569	535.115	228	261.298			1,021	1,029.356
36	242	287.670	362	394.705	166	220.120			770	902.495
38	235	315.730	249	312.286	107	161.358			591	789.374
40	209	316.601	138	200.282	62	106.562			409	623.445
42	198	333.566	66	109.461	38	73.990			302	517.017
44	175	321.653	24	45.348	17	36.596			216	403.597
46	139	287.773	6	12.823	8	19.585			153	320.181
48	126	282.758	3	7.299	9	24.396			138	314.453
50	76	189.541	1	2.777	7	21.113			84	213.431
52	72	193.232			2	6.521			74	199.753
54	42	121.366			5	17.873			47	139.239
56	34	108.052							34	108.052
58	26	88.441							26	88.441
60	32	115.190							32	115.190
62	13	49.992							13	49.992
64	11	45.859							11	45.859
66	7	30.859							7	30.859
68	6	29.043							6	29.043
70										
計	3,028	4,024.287	4,464	3,342.140	2,056	1,929.394			9,548	9,295.821
平均直径	35cm		30cm		30cm		cm			
平均樹高	24m		19m		23m		m			

立木材積は、胸高直径と樹高の測定結果を基に立木材積表により算定した値です。

航空レーザ調査の場合、樹種、本数及び樹高は、航空レーザによる計測成果から算出したもの、胸高直径は標準地（地上）調査の結果から推定したもの、立木材積はこれらデータをもとに立木材積表により算定した値であり、実際の数量とは差異がある場合があります。

（再掲）

面 積	19.41 ha
立 木 本 数	9,548 本
立 木 材 積	9,296 m ³ (33,465 石)

【伐区①】

明細表

樹 種	スギ		アカマツ		カラマツ				合 計	
林 齢	73年生		71～73年生		71～72年生		年生			
胸高直径	本数	立木材積	本数	立木材積	本数	立木材積	本数	立木材積	本数	立木材積
10										
12	5	0.265							5	0.265
14	1	0.086							1	0.086
16	4	0.520			6	0.720			10	1.240
18	4	0.692	7	0.840	7	1.246			18	2.778
20	3	0.723	19	3.363	15	3.765			37	7.851
22	5	1.525	61	14.945	45	15.570			111	32.040
24	6	2.274	167	55.110	75	32.400			248	89.784
26	7	3.255	295	119.770	98	54.782			400	177.807
28	5	2.815	339	178.992	115	77.625			459	259.432
30	4	2.700	415	263.110	121	97.405			540	363.215
32	3	2.406	409	324.746	91	85.904			503	413.056
34	3	2.826	351	326.781	64	70.272			418	399.879
36	6	6.594	244	264.008	34	43.112			284	313.714
38	4	4.888	191	238.368	31	45.105			226	288.361
40	4	5.616	97	139.583	14	23.198			115	168.397
42	8	12.824	50	82.400	12	22.524			70	117.748
44	7	12.201	20	37.500	10	21.150			37	70.851
46	2	3.940	5	10.605	2	4.744			9	19.289
48	3	6.627	3	7.299	3	7.944			9	21.870
50	4	9.524	1	2.777	1	2.843			6	15.144
52	1	2.648			1	3.152			2	5.800
54	3	8.508			1	3.481			4	11.989
56	1	3.126							1	3.126
58										
60	1	3.655							1	3.655
62	1	3.884							1	3.884
64	2	8.218							2	8.218
66										
68										
70										
計	97	112.340	2,674	2,070.197	746	616.942			3,517	2,799.479
平均直径	33cm		31cm		29cm		cm			
平均樹高	21m		19m		22m		m			

立木材積は、胸高直径と樹高の測定結果を基に立木材積表により算定した値です。

航空レーザ調査の場合、樹種、本数及び樹高は、航空レーザによる計測成果から算出したもの、胸高直径は標準地（地上）調査の結果から推定したもの、立木材積はこれらデータをもとに立木材積表により算定した値であり、実際の数量とは差異がある場合があります。

（再掲）

面 積	7.91 ha
立 木 本 数	3,517 本
立 木 材 積	2,799 m ³ (10,078 石)

【伐区②】

明細表

樹 種	スギ		アカマツ		カラマツ				合 計	
林 齢	73年生		73年生		73年生		年生			
胸高直径	本数	立木材積	本数	立木材積	本数	立木材積	本数	立木材積	本数	立木材積
10										
12	2	0.188							2	0.188
14	3	0.399							3	0.399
16	6	1.080							6	1.080
18	18	4.464			1	0.178			19	4.642
20	36	11.376							36	11.376
22	29	11.455			3	1.038			32	12.493
24	45	20.880	7	2.310	15	6.855			67	30.045
26	56	31.528	25	10.150	38	22.344			119	64.022
28	34	22.950	92	48.576	56	39.704			182	111.230
30	44	35.376	115	72.910	64	54.016			223	162.302
32	67	61.037	148	117.512	80	82.640			295	261.189
34	93	99.045	106	98.686	54	64.746			253	262.477
36	82	97.662	61	66.002	40	55.200			183	218.864
38	98	134.750	32	39.936	17	26.809			147	201.495
40	72	109.224	16	23.024	9	16.128			97	148.376
42	72	124.272	7	11.536	10	20.250			89	156.058
44	79	148.362			1	2.276			80	150.638
46	54	114.264			1	2.546			55	116.810
48	56	128.128							56	128.128
50	29	73.979							29	73.979
52	28	76.720							28	76.720
54	23	67.482							23	67.482
56	17	54.910							17	54.910
58	17	58.480							17	58.480
60	8	30.184							8	30.184
62	4	16.036							4	16.036
64	5	21.205							5	21.205
66	3	13.467							3	13.467
68	5	24.450							5	24.450
70										
計	1,085	1,593.353	609	490.642	389	394.730			2,083	2,478.725
平均直径	37cm		32cm		31cm		cm			
平均樹高	26m		20m		25m		m			

立木材積は、胸高直径と樹高の測定結果を基に立木材積表により算定した値です。

航空レーザ調査の場合、樹種、本数及び樹高は、航空レーザによる計測成果から算出したもの、胸高直径は標準地（地上）調査の結果から推定したもの、立木材積はこれらデータをもとに立木材積表により算定した値であり、実際の数量とは差異がある場合があります。

（再掲）

面 積	3.53 ha
立 木 本 数	2,083 本
立 木 材 積	2,479 m ³ (8,923 石)

【伐区③】

明細表

樹 種	スギ		アカマツ		カラマツ				合 計	
林 齢	73～74年生		71、74年生		74年生		年生			
胸高直径	本数	立木材積	本数	立木材積	本数	立木材積	本数	立木材積	本数	立木材積
10										
12										
14	2	0.266							2	0.266
16	10	1.800			2	0.220			12	2.020
18	37	8.695	13	1.872	6	1.068			56	11.635
20	76	22.876	31	6.417	15	3.765			122	33.058
22	87	32.799	91	25.753	36	12.456			214	71.008
24	99	45.936	140	49.420	68	29.376			307	124.732
26	95	53.485	164	75.932	78	43.602			337	173.019
28	106	68.582	192	107.712	113	76.275			411	252.569
30	123	94.956	171	121.239	131	110.564			425	326.759
32	139	126.629	145	121.365	128	126.464			412	374.458
34	128	131.072	112	109.648	110	126.280			350	367.000
36	154	183.414	57	64.695	92	121.808			303	369.917
38	133	176.092	26	33.982	59	89.444			218	299.518
40	133	201.761	25	37.675	39	67.236			197	306.672
42	118	196.470	9	15.525	16	31.216			143	243.211
44	89	161.090	4	7.848	6	13.170			99	182.108
46	83	169.569	1	2.218	5	12.295			89	184.082
48	67	148.003			6	16.452			73	164.455
50	43	106.038			6	18.270			49	124.308
52	43	113.864			1	3.369			44	117.233
54	16	45.376			4	14.392			20	59.768
56	16	50.016							16	50.016
58	9	29.961							9	29.961
60	23	81.351							23	81.351
62	8	30.072							8	30.072
64	4	16.436							4	16.436
66	4	17.392							4	17.392
68	1	4.593							1	4.593
70										
計	1,846	2,318.594	1,181	781.301	921	917.722			3,948	4,017.617
平均直径	35cm		28cm		31cm		cm			
平均樹高	25m		19m		24m		m			

立木材積は、胸高直径と樹高の測定結果を基に立木材積表により算定した値です。

航空レーザ調査の場合、樹種、本数及び樹高は、航空レーザによる計測成果から算出したもの、胸高直径は標準地（地上）調査の結果から推定したもの、立木材積はこれらデータをもとに立木材積表により算定した値であり、実際の数量とは差異がある場合があります。

（再掲）

面 積	7.97 ha
立 木 本 数	3,948 本
立 木 材 積	4,018 m ³ (14,463 石)

売払番号 第 507 号

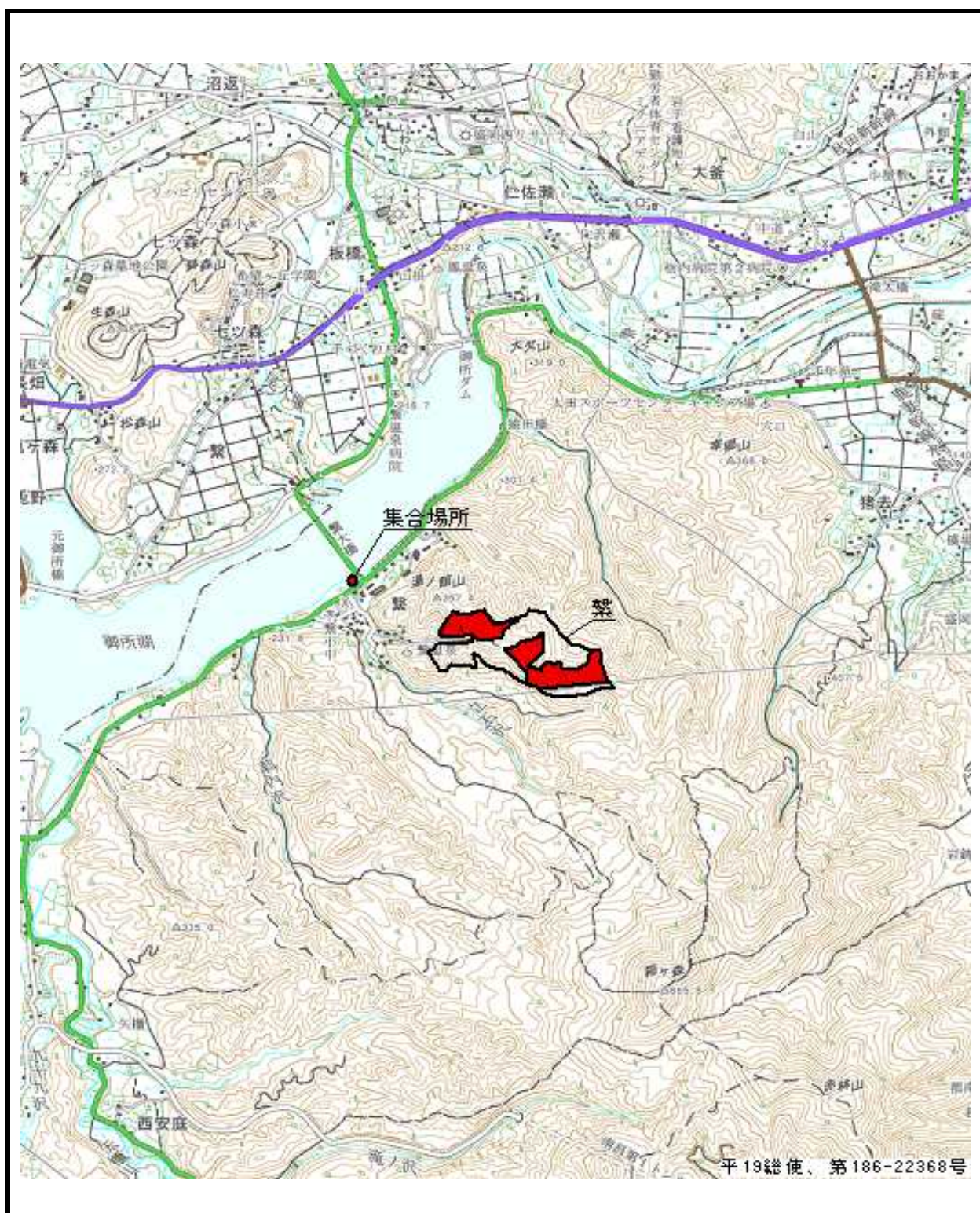
物件所在位置図(その1)

盛岡市繫字猿田 地内

旧県行造林 繫 事業区



・・・物件所在地



売払番号 第 507 号

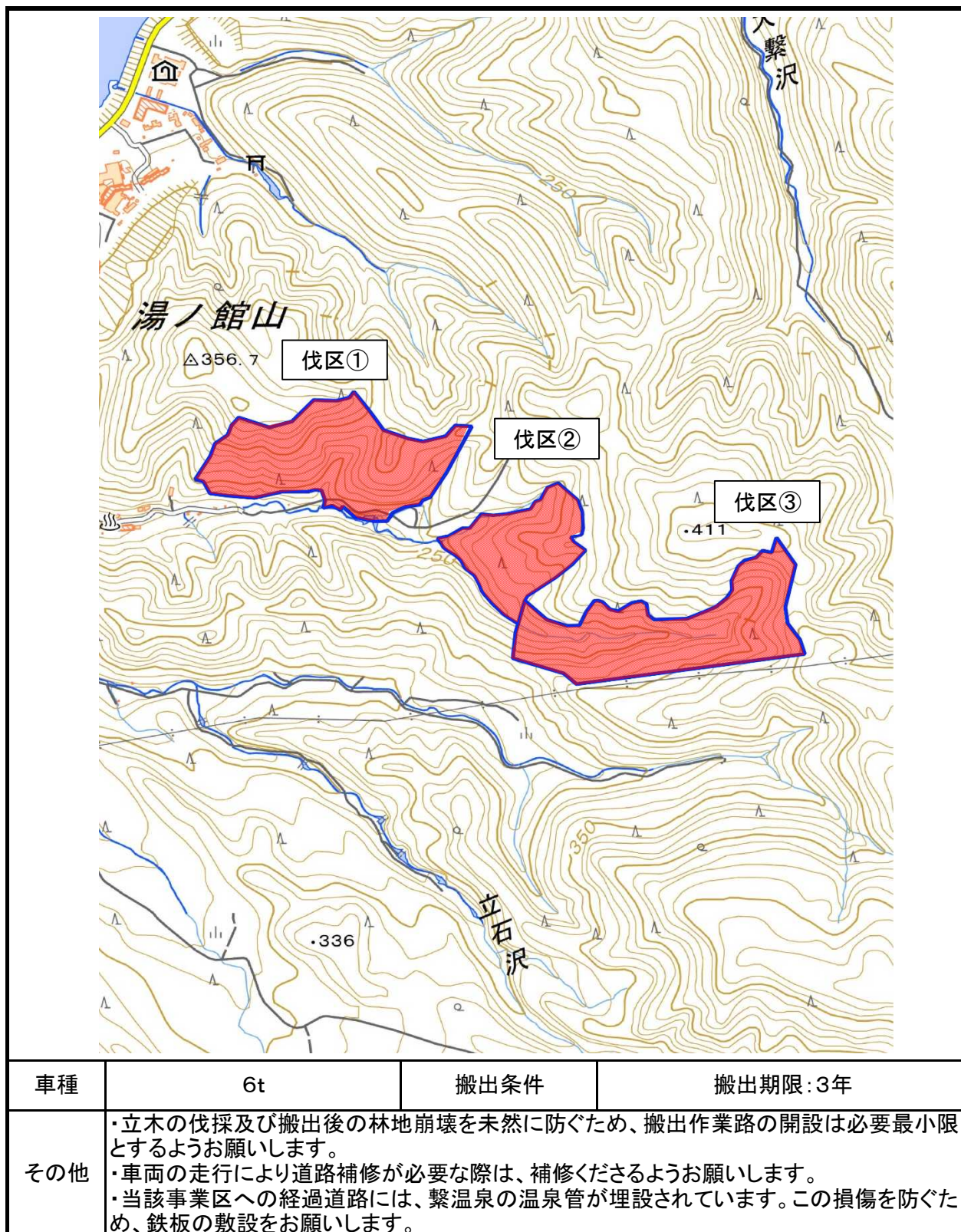
物件所在位置図(その2)

盛岡市繫字猿田 地内

旧県行造林 繫 事業区



・・・物件所在地



県 有 林 産 物 競 争 入 札 心 得

1 資格の確認

入札者参加者は、県有林の産物売払競争入札参加資格者名簿に登録された者である旨を受付に申し出て、確認を受けること。

2 入札書記載金額

落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札参加者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

3 入札書記載事項等

(1) 入札書（様式第1号）には、次のことを記載すること。

ア 売払番号

イ 入札金額（消費税及び地方消費税相当額を除いた金額）

ウ 入札年月日

エ 宛名（入札執行機関の長宛てとする。なお、氏名の記入は不要とする。（記載例：盛岡広域振興局長 様））

オ 入札参加資格者名簿の登録番号

カ 入札参加者住所・氏名（委任された者が入札を行う場合は、委任者住所氏名、代理人氏名を記載する。）

(2) 入札書への押印は、競争入札参加資格申請の際に届け出たものと同じ印鑑を使用すること。

ただし、代理人にあっては委任状に使用した代理人の印鑑を使用するものとする。

(3) 入札書への記入は、インク・ボールペン・マジックペン等を用い、鉛筆は使用しないこと。

(4) 記載事項を訂正する場合は、該当訂正部分を線で抹消の上、入札書と同じ印鑑で訂正印を押印すること。

ただし、入札金額の訂正及び抹消は認めない。

4 代理入札

(1) 入札参加者は、代理人に入札させるときは、その委任状を受付に提出すること。

(2) 委任状には、委任者の氏名、代理人の氏名及び委任事項を記載し、委任者と代理人それぞれが押印すること。

5 事前入札

(1) 事前入札を行う場合は、発送記録が確認できる送付手段又は持参により、入札日前日17時（その日が休日及び祝日に当たっている場合は、その前の平日まで）までに盛岡広域振興局林務部森林保全課に到着するよう提出すること。

(2) 事前入札に当たっては、封筒を二重に使用し、内封筒には入札物件ごとに1通の入札書を入れ、表面に売払番号、商号又は名称及び代表者職・氏名を記入して封かんすること。

(3) 外封筒には、入札書を入れた内封筒を入れて封かんの上、表面には、送付先、「入札書在中」（朱書き）、入札日及び件名（記載例：令和8年度 9月県有林産物公売）を記入し、裏面には、入札参加者の住所、商号又は名称及び代表者職・氏名を記入すること。

(4) 外封筒には、同日・同会場で実施する物件の入札書を入れた内封筒をまとめて提出することができる。

(5) 持参する場合は、事前入札書提出届（様式第2号）により提出すること。

(6) 落札の場合は連絡するが、不落札の場合は連絡しない。

6 入札の無効

(1) 次の各号のいずれかに該当する入札は無効とする。

ア 民法（明治29年法律第89号）第90条（公序良俗違反）、第93条（心裡留保）、第94条（虚偽）に該当する入札

イ 入札に参加する資格を有しない者による入札

ウ 委任状を持参しない代理人による入札

エ 記名押印をしていない入札

オ 金額を訂正した入札

カ 誤字、脱字等により必要事項が確認できない入札

キ 上記5(2)及び(3)に定める事項の記載がない封筒による事前入札

ク 明らかに連合によると認められる入札

ケ 同一の入札について2通以上の入札をした者の入札

コ 他人の代理人を兼ね、又は2人以上の代理をした者の入札

サ その他入札に関する条件に違反した入札

(2) 次に該当する入札は取り消すことができる。

民法（明治29年法律第89号）第95条（錯誤）に該当する入札

- 7 落札者の決定
- (1) 入札を行った者のうち、予定価格の価格以上の入札者で最高の価格をもって入札した者を落札者とする。
 - (2) 落札者となるべき同価格の入札をした者が2人以上あるときは、直ちに、当該入札をした者にくじを引かせて落札者を決定する。
この場合において、当該入札をした者のうちくじを引かない者があるときは、これに代わって入札事務に関係のない職員にくじを引かせる。
- 8 再度入札
- (1) 最初の入札において落札者がいない場合は、直ちに再度入札を行うものとする。
 - (2) 再度入札を行う場合の入札者は、当該入札を辞退するものを除き、最初の入札における入札者のみとする。
 - (3) 最初の入札の開札時から立ち会わない事前入札参加者は、再度入札を辞退したもののみなし、再度入札への参加は認めない。
 - (4) 入札執行回数は3回とし、この限度内において落札者がいないときは、入札を打ち切る。
- 9 指名競争入札における入札の辞退
- (1) 入札執行の完了に至るまでは、いつでも入札を辞退することができる。ただし、提出した入札書の手換え、引換え又は撤回をすることはできない。
 - (2) 入札を辞退するときは、次のア又はイに掲げるところにより申し出なければならない。
ア 入札執行前にあつては、入札辞退届を入札執行機関に直接持参、又は郵送（郵送の場合は入札日の前日までに到着するものに限る。）すること。
イ 入札執行中にあつては、入札辞退届又はその旨を明記した入札書を、入札を執行する職員に直接提出すること。
 - (3) 入札を辞退した者は、これを理由として以後の指名等について不利益な取扱いを受けることはない。
- 10 公正な入札の確保
- (1) 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為を行ってはならない。
 - (2) 入札参加者は、入札に当たっては、競争を制限する目的で他の入札参加者と入札価格又は入札意思についていかなる相談も行わず、独自に入札価格を定めなければならない。
 - (3) 入札参加者は、落札者の決定前に、他の入札参加者に対して入札価格を意図的に開示してはならない。
 - (4) 入札参加者が連合し、又は不穏の行動をなす等の場合において、入札を公正に執行することができないと認められるときは、当該入札参加者を入札に参加させず、又は入札の執行を延期し、若しくは取りやめることがある。
- 11 入札保証金
入札保証金は免除する。
- 12 賠償責任
落札の無効により生じた損害は、県において賠償の責任を負わない。
- 13 契約締結の留意事項
- (1) 落札者の決定後、売買契約書を作成し契約が確定するまでの間において、当該落札者が次に掲げるいずれかの事由に該当した場合は、当該落札者と契約を締結しない。
ア 地方自治法施行令第167条の4第1項の規定に該当することとなったとき。
イ その他著しい不適正な行為があったとき。
 - (2) 落札者が、契約書を受領した日から20日以内に契約書に県有林産物の売買契約を締結しない場合は、入札金額の100分の3に相当する金額を違約金として徴収する。
 - (3) 契約保証金は、落札金額の100分の10以上の金額を契約書作成の前までに納入のこと。ただし、次に掲げるいずれかの場合はこの限りではない。
ア 入札日から起算して過去2か年間に於いて、国（森林管理署等）又は地方公共団体（県、市町村等）と規模をほぼ同じくする素材又は立木の売買契約を2回以上締結し、かつ、これらをすべて誠実に履行した者で、当該代金の納入を確認できる書類等を契約締結の前までに提出した場合。（ただし、契約相手が岩手県の場合は、提出不要）
イ 契約の相手方が、保険会社との間に県を被保険者とする履行保証保険契約を締結している場合。
ウ 契約締結時に、確実な担保を提供した場合。
なお、買受者が契約を履行せず、契約を解除した場合は、契約保証金は県に帰属し、契約保証金の納付のないときは契約金額の100分の10に相当する金額を違約金として徴収する。
 - (4) 売買代金の納入期限については、契約締結の日から30日以内とする。ただし、延納を希望するときは、契約締結の後に別に申請書を提出し、県の承認を得て延納担保及び延納利息を納付することにより原則として3か月の延納を認める。

入 札 書

令和 8 年度 9 月県有林産物公売

落 札

売払番号	第 507 号
------	---------

不落札

金額	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	円

令和 8 年 9 月 30 日

盛岡広域振興局長 様

登録番号	
------	--

住 所

氏 名

印

(備考)

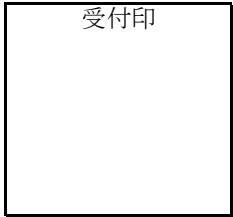
- 1 金額は、消費税及び地方消費税相当額を除いた金額を記載すること。
- 2 金額は、アラビア数字を用い、訂正又は抹消しないこと。

年 月 日

事前入札書提出届

令和 8 年度 9 月県有林産物公売に係る事前入札書を提出します。
記

- 1 売払番号 第 507 号
- 2 開札日 令和 8 年 9 月 30 日
- 3 入札者 登録番号 第 号
住 所
氏 名



記載例

入 札 書

令和8年度9月県有林産物公売

落札

売払番号

第507号

不落札

金額	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	円
	¥	○	□	△	○	0	0	0	0

令和8年9月30日

盛岡広域振興局長 様

登録番号

委任する
場合は不要

住 所 ○○県△△市□□町××字○○番地

氏 名 ○○木材 株式会社
代表取締役 ○○ ○○

印

代理人が入札する
場合に記載

(上記代理人)
氏 名 △△ △△

印

委任のある支店等から
委任を受けた復代理人
が入札する場合に記載

(上記代理人)
住 所 ○○県□□市××町○○字□□番地
氏 名 ○○木材 株式会社 □□営業所
営業所長 □□ □□

(上記復代理人)
氏 名 △△ △△

印

(備考)

- 金額は、消費税及び地方消費税相当額を除いた金額を記載すること。
- 金額は、アラビア数字を用い、訂正又は抹消しないこと。

(参考様式)

委任状

令和 年 月 日

盛岡広域振興局長 様

(委任者)

住 所

商号又は名称

代表者氏名

印

私は、下記により代理人を定め、入札に関する一切の権限を委任します。

記

1 委任する入札

(1) 件 名 令和8年度 9月岩手県県有林産物公売

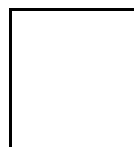
(2) 入札日 令和8年9月30日

2 代理人

住 所

氏 名

使用印



県有林の伐採・搬出にあたっての留意事項

県有林の伐採・搬出にあたっては、「主伐時における伐採・搬出指針（令和3年3月16日付け2林整整第1157号林野庁長官通知）」に基づき作業されますようお願いいたします。

特に、林地保全及び土砂流出等の災害防止の観点等から下記事項に十分留意されますようお願いいたします。

1 枝条や伐倒木等の処理方法について

- ・ 枝条や転石を、民家や道路等へ落下させないよう作業を行う。
- ・ 枝条等の残材は溪流敷外に搬出し、残置場所の分散や杭を打つ等、大雨等で流出しないよう適切に処理する。
- ・ はい積みの位置は原則として作業道の谷側とし、極力、沢筋は避ける。

2 作業道及び土場の作設について

- ・ 作業道及び土場は必要最小限とし、地形に沿った作設とする。
- ・ 路網を計画する際は、溪流を横断する箇所をできるだけ少なくし、切土や盛土の高さを低く設定する等、林地保全に配慮した作設とする。
- ・ 必要に応じて横断排水等の排水箇所を設け、適切な排水処理を行う。
- ・ 作設した作業道等のうち、一時的な使用を目的としたものは、使用後に埋戻しを行うなど早期に原状回復されるようにする。
- ・ 直下に民家、道路、鉄道等の重要な施設がある場合や、急傾斜地、溪流に近接している、土壌等の条件が悪い等、林地崩壊や土砂流出を引き起こすおそれがある箇所での作設は避ける。
- ・ 「主伐時における伐採・搬出指針」に基づかない場合にあって、かつ、「宅地造成及び特定盛土等規制法（令和5年5月26日施行、通称：盛土規制法）」に該当する場合は、「盛土規制法」における許可が必要になるので、注意すること。

3 道路の使用や損傷防止等について

- ・ 雨天時や雨天直後は、搬出作業を極力控える等、道路の損傷防止に努める。
- ・ 道路を損傷した場合には、補修を行うこと。

4 その他の事項

- ・ 取水施設や養魚場等、又は漁業権設定河川が下流にある場合は、濁水を発生させないよう対策を講じる。
- ・ 早朝等において騒音防止の対策を講じる。
- ・ 現場に立て看板を設置する等、関係者以外にも作業中であることを知らせ、安全確保・事故防止に努める。

5 アカマツ林の伐採について

当該物件は、松くい虫被害地域（周辺地域）となりますので、アカマツ材を伐採、搬出する際は、別添「松くい虫対策としてのアカマツ伐採施業指針」を遵守願います。

また、「森林病虫害等防除法」に基づき公表している「令和8年岩手県告示第167号」において、森林病虫害等の駆除及びまん延を防止するために行うべき措置が定められていることから、併せて確認願います。

6 土砂流出防備保安林の伐採について

当該物件は、土砂流出防備保安林に指定されており、伐採年度ごとに皆伐による伐採をすることができる1箇所当たりの面積の限度は10haとなっているので、留意願います。

（1箇所の定義は、伐区間を20m以上あけること。）

7 立木搬出に係る埋設温泉管の保護について

当該物件への経過道路には、繋温泉の温泉管が埋設されています。埋設管の損傷を防ぐため、鉄板の敷設をお願いします。

- ・ 敷設位置
別図のとおり。（5箇所）
- ・ 鉄板規格
1.5m×3.0m（必要な箇所が保護できればこの限りではありません。）



① 約9枚



② 約14枚



③ 約8枚



④ 約4枚



⑤ 約9枚



松くい虫対策としてのアカマツ伐採実施指針

(平成 21 年 4 月 16 日森整第 65 号)
 (改正 平成 22 年 3 月 17 日森整第 970 号)
 (改正 平成 23 年 2 月 18 日森整第 842 号)
 (改正 平成 24 年 4 月 13 日森整第 52 号)
 (改正 平成 26 年 2 月 20 日森整第 768 号)
 (改正 平成 27 年 3 月 3 日森整第 799 号)
 (改正 令和 5 年 2 月 27 日森整第 745 号)
 (改正 令和 8 年 4 月 1 日森整第 110 号)

1 趣 旨

松くい虫被害の拡大防止を図り、健全なアカマツ林を造成するため、「岩手県松くい虫被害対策推進大綱」による総合的な被害対策を推進するとともに、この指針に基づき、アカマツ林の除間伐及び主伐並びに土木工事等におけるアカマツ支障木伐採等の適正な伐採実施について指導するものである。

2 地域区分

松くい虫被害（マツ材線虫病）の発生状況及びマツノマダラカミキリの生息分布状況を勘案し、次のとおり地域区分を行う。

地 域 名	指 定 要 件	地 域 の 範 囲
被害地域	松くい虫被害（マツ材線虫病）が継続して発生している地域。 ただし、標高おおむね 500m 以上を除くものとする。	盛岡市、滝沢市、矢巾町、 紫波町、花巻市、北上市、奥州市、 金ケ崎町、一関市、平泉町、 大船渡市、陸前高田市、住田町、 遠野市、一戸町
周辺地域	被害地域に接する地域で、マツノマダラカミキリの生息が確認されるなど警戒を要する地域。 ただし、標高おおむね 500m 以上を除くものとする。	
そ の 他 の 地 域	上記以外の地域。	上記以外の市町村

3 施業指針

地域区分別の施業指針は、次のとおりとする。

なお、この指針は主伐と生産間伐を基本としている。切り捨てした除間伐木については、本表の残材と同じ処理をする。

地域区分	伐採時期	処 理 方 法			備 考
		造材丸太	残 材	枝 条	
被害地域 及び 周辺地域	4月 ～5月	6月に入る前に林外に搬出すること。	剥皮、焼却、林外搬出処分、薬剤散布又は破砕すること。	焼却、林外搬出処分、薬剤散布又は破砕すること。 ただし、最大径3cm以下のものは放置してもよい。	薬剤散布はなるべく避け、散布する場合は県の指導を受けること。 破砕は、チッパーにより行い、厚さ15mm以下とすること。
	6月 ～9月	伐採を避けること。 やむを得ず伐採する場合は、所管する広域振興局林務部、農林部又は農林振興センターの指示を受けること。			6月～9月に新しい皮付丸太を放置すると、松くい虫の繁殖源、感染源となる。
	10月 ～11月	通常の施業でよい。	最大径20cm以上のものは、1m以下に玉切って乾燥しやすいうに残置すること。	放置してもよい。	「マツ伐倒時期安全確認調査」を実施した場所においては、安全が確認された時期、方法に従って施業すること。（調査方法は別紙のとおり）
	12月 ～1月	通常の施業でよい。	1m以下に玉切って乾燥しやすいうに残置すること。	左に同じ。 ただし、最大径3cm以下のものは放置してもよい。	
	2月 ～3月	通常の施業でよい。	剥皮、焼却、林外搬出処分、薬剤散布又は破砕すること。	左に同じ。 ただし、最大径3cm以下のものは放置してもよい。	
その他の地域		通常の施業でよい。	左に同じ。	左に同じ。	

4 その他

- (1) 被害地域及び周辺地域の標高おおむね500m以上の林分であっても、マツノマダラカミキリの生息している林分と近接している場合は、標高おおむね500m未満の地域に準じる。
- (2) 被害地域及び周辺地域においては、被圧木、衰弱木枯損枝、暴風雪その他の原因による枯損木は、速やかに処理する。
- (3) 被害地域及び周辺地域においては、隣接林分（おおむね200m以内）の連年施業は避けること。
- (4) クロマツについても本指針に準じて施業する。
- (5) この指針により難しい場合には、別添の「マツ伐倒時期安全確認調査方法書」による調査結果によって施業すること。

マツ伐倒時期安全確認調査方法書

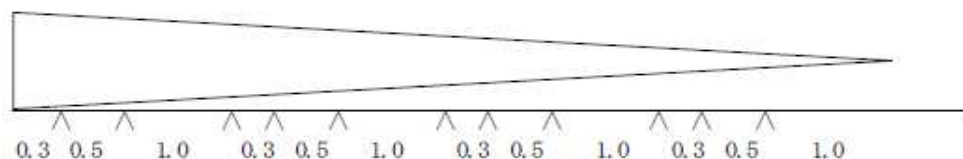
1 目的

アカマツの伐木残材や枯損木が松くい虫被害の感染源となっていることから、「松くい虫対策としてのアカマツ伐採実施指針」に基づいて施業の指導を進めるとともに、地域の立地環境により、伐採時期、施業方法を弾力的に運用するため、本調査を実施する。

なお、この調査の結果は、当面、調査場所にのみ適用するものとする。

2 調査方法

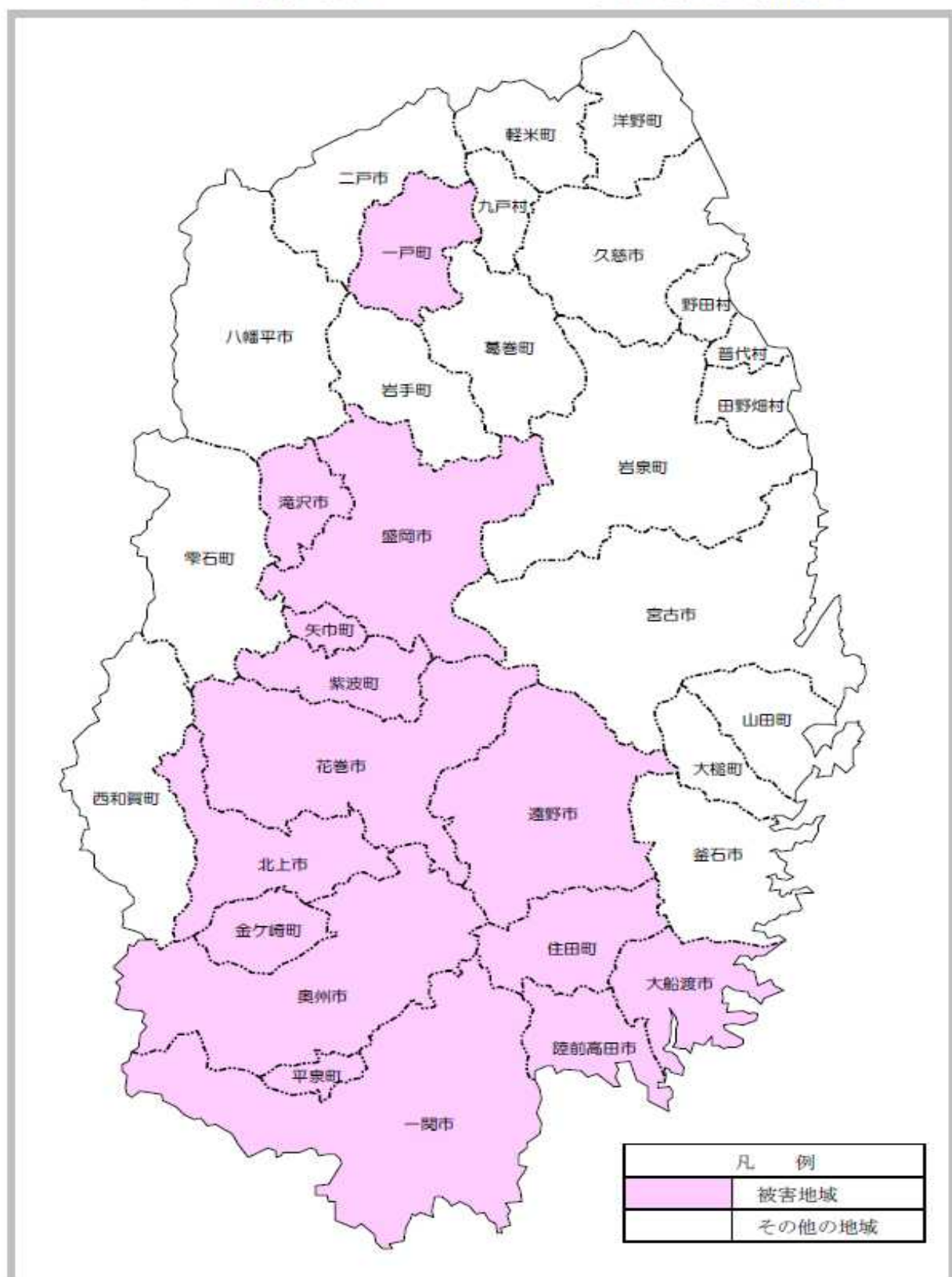
- (1) 10月～翌年5月までの各月の20日に供試木2本を伐倒し、各々1.0、0.5、0.3mに玉切り、林内に放置する。
- (2) 翌年10月に各供試木丸太に対するマツノマダラカミキリの寄生状況を調査する。
- (3) 供試木の玉切り方法は、次のとおりとする。



時期別伐倒木調査とりまとめ表

現地機関名				担当者名												
林況・地況	所在地	事業区、林小班														
	樹種		林 齢	年	平均胸高直径	cm	平均樹高	m								
	方位		標 高	m	備 考											
調 査 結 果																
伐 倒 年 月 日	供試木の 胸高直径	1.0m 材				0.5m 材				0.3m 材						
		供試 本数	マツノマダラカミキリ 寄生密度本数				供試 本数	マツノマダラカミキリ 寄生密度本数				供試 本数	マツノマダラカミキリ 寄生密度本数			
			0	+	++	+++		0	+	++	+++		0	+	++	+++
年 月 日	No.1 No.2 計															
年 月 日	No.1 No.2 計															
年 月 日	No.1 No.2 計															
0 寄生なし + 1 匹 ++ 2～5匹 +++ 6匹以上		注 1 判定は「マツノマダラカミキリ判定の手引」を利用。 2 カラフトとマダラは判別不能なので、区別しなくてもよい。 (林業技術センターで飼育して判定する) 3 寄生密度の判定は、概略で良い。(全面剥皮の必要はない)														
		供試丸太1本当たりの幼虫、あるいは材入孔数														

松くい虫被害対策としてのアカマツ伐採施業指針附属図



公売物件の概要

1 林内状況



スギ(73年生)



アカマツ(71年生)

2 施業履歴

作業種	年度	備考
植栽	S28～31	スギ、アカマツ、カラムツ
下刈	S28～35	スギ、アカマツ、カラムツ
つる切	不明	
除伐	S50、S57～58	スギ、アカマツ
保育間伐	不明	

3 道路状況

